

2024年度 事業報告書(2024年4月1日～2025年3月31日まで)

NPO法人スマイルポケット

1 はじめに

今年度も昨年度に続き、経済的に困窮している世帯や病気や障がい等の課題を抱える世帯とつながり寄り添う『ささこスマイル便』をメインの活動として展開した。その他の従来事業も引き続き実施するとともに、活動拠点となるみんなの居場所を作るべく、クラウドファンディングにも挑戦した。

2 事業の成果

(1) 子育て世帯とつながり、よりそい続けるために必要な事業

(a) 弁当のお届け事業『ささこ弁当』

2024年7月、11月、2025年2月の計3回で、延べ212世帯、大人377人、子ども468人、合計845人に弁当を届けることができた。

日付	世帯数	大人	子ども	合計
2024. 7. 2	80	144	178	322
2024. 11. 29	84	149	179	328
2025. 2. 9	48	84	111	195
合計	212	377	468	845



(b) 子どもの居場所(遊び場)事業『ささこ青空ひろば』

2025年1月、3月の計2回で、延べ24世帯、大人32人、子ども50人、合計82人に参加いただきました。

1月19日 児童支援センターえがおスタッフによる『遊びの教室』

2月9日 ミズノ公認指導員による『親子でカラダを動かそう』

日付	世帯数	大人	子ども	合計
2025. 1. 19	9	11	19	30
2025. 2. 9	15	21	31	52
合計	24	32	50	82



(2) 子育て世帯の困りごとや悩みの解決・解消につながる事業

(a) 個別相談対応

主に、公式 LINE のトーク機能を使って、各世帯とのやりとりを行い、ケースによっては直接お目にかかって話を伺い対応した。

(b) 物品の提供(一部は新品)

- ・引っ越しのお手伝い。・制服、体操服の提供。(リユース)
- ・おむつ、粉ミルクの提供。(新品)
- ・学用品、日用品の提供。(新品)

(3) 子育て世帯のつながりを広げるためのイベント・ツアーなど交流に関する事業

ひとり親世帯は、「ひとり親というだけで冷たい目で見られる」「ひとり親になった途端、今まで接していた人と気持ちの面で壁ができてしまった」「両親揃ってる世帯と話が合わないことがある」など、孤立しがちである。そのような世帯を対象に、「同じひとり親世帯と交流し仲間となる機会を作る」「遊びや旅行の機会が少ない子どもたちのために、親子で楽しく体験する機会を提供する」ことを目的に、昨年度に引き続き、子どもたちが農作物収穫体験をしている間に親は交流する事業を行った。

また、今年度の新たな取り組みとして、子どもたちが料理教室で調理している間におユアが交流する事業も行った。

(a) ひとり親世帯の農作物収穫体験交流会

日付	世帯数	大人	子ども	合計	備考
2024. 7. 28	6	6	7	13	夏野菜収穫
2024. 10. 14	8	8	11	19	黒枝豆収穫
合計	14	14	18	32	



(b) ひとり親世帯の交流会&子ども料理教室

日付	世帯数	大人	子ども	合計	備考
2024. 5. 19	3	3	3	6	カラフルおにぎり
2024. 12. 18	4	4	6	10	蒸しパン
2025. 3. 9	3	3	3	6	ピザ
合計	10	10	12	22	



(4) 子育て世帯の見守り強化に関する事業

(a) アウトリーチによる子ども宅食事業『ささっこスマイル便』

2023年8月にスタートした『ささっこスマイル便』を今年度も継続し、毎月1回食材や日用品を直接お宅へお届けし、利用する子育て世帯に寄り添い見守った。

日付	世帯数	大人	子ども	合計
2024. 4. 12	35	46	88	134
2024. 5. 10	35	46	88	134
2024. 6. 14	37	48	92	140
2024. 7. 12	39	50	95	145
2024. 8. 2	40	51	96	147
2024. 9. 13	38	51	95	146
2024. 10. 11	38	51	95	146
2024. 11. 8	38	51	95	126
2024. 12. 13	38	51	95	146
2025. 1. 10	40	53	97	150
2025. 2. 14	41	54	99	153
2025. 3. 14	41	54	99	153
合計	460	606	1,134	1,740



(5) 子育て支援に対する取り組みや成果の発信に関する事業

(a) 子育て講演会『子どもたちがもっと笑って過ごせる社会へ』

日時:2024年12月1日(日)14:00~15:30

場所;四季の森生涯学習センター東館 大会議室

講師:兵庫子ども支援団体 代表理事 多田実乗氏

参加人数:スタッフを除き11人

兵庫子ども支援団体では、子どもの権利をどのように考え、何を大切に活動しているのか、また、活動を通してわかった、子どもたちの置かれている状況と今後必要な支援についてお話しいただいた。

単に子育て支援に関心のある方だけでなく、教育長、市議会議員、スクールソーシャルワーカーの参加もあり、子どもが笑って過ごせる社会を作っていくには、行政や学校だけでなく、地域とのつながりを広げ、子どもたちの居場所を増やすことが大切であることを共有できた。



(6) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

『孤立する子育て世帯をゼロに！誰もが笑顔になる居場所を丹波篠山に作りたい！』

月1回のささっこスマイル便お届けに加えて、SNS やオンラインでやりとりができることも多くなってきたが、やはり対面で話せる居場所を作りたい！

そこに居ると笑顔になる、元気になる、ほっとする、落ちつく、力が湧いてくる、..そんな「居場所」、みなさんにはありますか？

世間話から相談まで、誰もが気軽に立ち寄れる居場所を作ります！！家でもない、職場でもない、子どもたちにとっては学校でもない。第3の居場所(サードプレイス)を作ります！

コングラント株式会社と関西テレビ放送株式会社のコラボ企画に参加し、クラウドファンディングを実施した。

期間：2024年4月1日～5月31日

寄付人数：144名

寄付総額：1,069,000円



3 事業実施体制

(a) 会議に関する事項

① 総会

5月16日通常総会を開催、臨時総会の開催はなし。

② 理事会

5月15日、9月19日、12月19日、3月20日に開催。

(b) 理事

4名 中村伸一郎、堂岡沙織、樋口裕昭、宮川藍子
(山下敬子は2024年12月19日付けで辞任)

(c) 会員(正会員)

10名 中村伸一郎、堂岡沙織、樋口裕昭、宮川藍子、山下敬子、鈴木克哉、
鈴木友美、武田ひとみ、河村知佳、安井智子